



掲示板

介護と福祉用具の講座案内

介護実習・普及センター

〈一般県民を対象としている講座〉

基礎講座	1月21日・28日／2月8日・15・22
中級講座	1月23日・30日／3月10日・17・24
医療講座	2月10日
痴呆介護講座	2月21日・28日
介護食調理実習	1月31／3月16日
介護ボランティア講座	3月15日・22日

どなたでも受講できます。お気軽に申込み下さい。

〈介護専門職を対象としている講座〉

福祉用具講座	1月26日／2月16日／3月8日
ホームヘルパー介護技術 フォローアップ講座	2月18日・25日
機能回復講座	1月19日
住宅改造講座	1月24日

受講のお申し込み 問い合わせ先 電話 048(755)2118(直通)

ショートステイ 利用者募集



彩光苑のショートステイはゆとりの2人部屋が基本です。連続30日までの利用が可能です。もちろん、送迎も行っております。担当のケアマネージャーをとおしてご利用ください。彩光苑ホームページ <http://www.saiseikai.gr.jp/saikouen/> でお申し込み書類を取り出すことができますのでご利用ください。

彩光苑ケアハウス 入居者募集

ただいま、二人でのご入居が可能な部屋が1部屋空いております。自立した生活が出来る方で、どちらか一方の方が60歳以上であれば入居可能です。尚、入居の一時金は不要です。快適なシニアライフがあなたをお待ちしております。一人の個室のご入居の相談も合わせてお受けしております。



お問い合わせ 048-755-2111 担当 平野 塩田 林

彩光苑ホームページ <http://www.saiseikai.gr.jp/saikouen/>

「編集後記」

今回の新年号より広報誌の名称が変わり親しみやすい「彩光苑だより ふれあい」になりました。この、「ふれあい」という名称は彩光苑の職員とケアハウスの利用者から予め名称の候補を募集し、苑内に掲示して投票によって決まったものです。また、表紙の「ふれあい」の文字は田嶋所長の直筆です。

今後は、4月、7月、11月、1月の年4回発行し、彩光苑の情報を皆様にお知らせしていきたいと、考えております。今後ともよろしくお願いいたします。 By 広報委員長

特別養護老人ホーム・ケアハウス・介護実習・普及センター

広報誌

彩光苑
だより

ふれあい

第5号
平成17年 新年号

発行／社会福祉法人 墨陽 済生会支部
埼玉県済生会受託
埼玉県彩光苑
〒344-0051 春日部市内牧3149
電話 048-755-2111
発行者／所長 田嶋 襄
編集／広報委員会
発行日／平成17年1月17日



新年のご挨拶

所長 田嶋 襄

新年あけましておめでとうございます。昨年は、国内外ともに異常気象や自然災害に見舞われ、まさに天地創造の一年でありました。幸い、彩光苑におきましては、皆様方のご協力と職員の頑張りによって大過なく終わることができました。心より御礼申し上げます。

今年は、済生会が埼玉県から彩光苑の管理運営を受託して3年目を迎えます。平成17年度は、県からの受託期間の最終年度にあたりますが、諸課題の総まとめを行う重要な年になります。

現在の施設運営の状況は、特養、短期入所、ケアハウスの各事業の稼働が、まずまず順調に推移しております。しかしながら、収支状況は、健全とは言えず、今後は、経費節減とともに事業の拡大を図る必要があります。増収策としては、特養の増床計画並びに既存事業の稼働を更に推進し、安定した収入を確保することが大切と考えております。同時に、施設の整備や設備機器の総点検など、安全面に十分配慮していかなければなりません。

今年の目標の一つは、彩光苑の理念にありますように、『地域の人々と手をつなぎ、高齢者が尊厳をもって暮らせるように』地域福祉の向上に努めて参ります。昨年に引き続き、「介護の質とサービス向上」に取り組んで参ります。具体的には、昨年10月に導入しました「グループケア」を軌道に乗せることが肝心です。その他では、「地域との連携」や「ボランティアとの交流」も重要でありますので、従前に増して力を入れて参ります。特に、ボランティアの皆様のご意志に応えられるように、受け入れ体制を更に推進して参ります。「人材の確保」につきましては、県職員の異動に伴う人材確保が必要になります。幸い、一昨年、昨年と必要な人材を確保することができましたが、今後も、職員の育成や自己啓発などの職員教育を積極的に進めて参ります。同時に、職員が仕事に対しての「やりがい」や「満足感」が得られる環境づくりに取り組みます。有能な職員と安定した組織の構築が、介護サービスの向上の基盤であり、そのためには、職員の処遇の見直しや諸規則の整備が不可欠と考えます。

更に、今年は、介護保険法の施行後5年の見直しの年にあたり、介護保険法の改正が行われる予定です。平成17年の彩光苑は、多種多様な課題を抱えてスタートするわけですが、皆様方のご協力と職員一丸となって、今日より明日、明日より明後日と、一步一步堅実に誠意を込めて仕事に取り組んで参りますので、何卒ご支援ご協力をお願いする次第です。

本年も、利用者、ご家族の皆様並びに彩光苑にとりまして、すばらしい年でありますよう心からお祈り致しまして、私の年頭のご挨拶と致します。





お正月



3が日は、お正月気分を味わって頂く為、様々な行事を行いました。
元日は、大晦日からの雪の影響で初詣は中止になりましたが、デイコーナーでカラオケを行いました。利用者様方の元気ある歌声に寒さも吹きとびました。

あけまして
おめでとう
ございます



おせちを頂いて
今年も元気よく



2日は、新春お楽しみ会として1階食堂にて特大スゴロクを楽しみました。とまったマスにに応じて、利用者様にお正月の想い出話をして頂いたり、皆様で歌を唄って頂いたりしました。また、この日はケアハウス利用者の石丸ラク様に新舞踊の「雪椿」をご披露頂きました。華麗な舞いに感銘を受け涙する利用者様の姿もあったのが印象的でした。



エイッ！

3日は、書き初めを行いました。書道が得意な方もいれば、苦手な方もいますが、皆様1字1字力を込めて書いていました。

また、3が日には昼食時にお屠蘇配りも行われました。ほろ酔い気分と共にお正月気分を満喫して頂けたのではないかと思います。

職員と致しましては、様々なお正月行事を通じ、年の初めより利用者の方々の笑顔に触れることが出来たことを心より嬉しく思います。



特大スゴロク！！



書初め。

定年を間近に控えて



『振り返って』

22歳で介護の仕事に就きました。結婚し3人の子育てと1人5足位のワラジを履き、無我夢中で今日も無事1日が終わったと思っている時期に先輩から「今が一生の中で一番幸せな時よ、しっかりと噛みしめて大事にする

事ネ」とアドバイスを受けた事がようやく理解できる年齢になりました。

永年に渡り係わり合った大勢の利用者様・ボランティアの皆様や同僚に支えられながら、介護の現場で定年を迎えた先輩方を目標にして特に健康管理に努力し、定年まで勤めることができました。素晴らしい思い出やステキな出会いを財産に今後は社会に恩返しができる様に努力して行こうと思います。

長い間、本当にありがとうございました。

介護担当主査: 吉岡 キヨ子



『仕事楽しい』

彩光苑に勤めてあつという間の5年でした。「おはようございます」の挨拶で1日の仕事が始まります。

初めは数人の方との会話がやっとでしたが、今では利用者の皆様から

「今日は早番なの？ご苦労様ね」、「有り難う」、「お疲れ様」と、声を掛けていただけるようになり仕事の楽しさを実感しています。利用者様が、ご家族の話や思い出話、また、精一杯生きてご自分の人生を、とても楽しそうに話される時、私も幸せな気持ちになります。

子育てが終わり、心にゆとりが持てるようになったのも仕事をより楽しくさせているのかもしれませんが、還暦まで仕事を続けられた健康に感謝です。

介護担当: 小川 扶美子



クリスマス&忘年会



黄門様～早くでてきて



男性職員による出し物『水戸黄門』



12月の街は輝くイルミネーションで私達の心にも輝きを与えてくれます。そんなイルミネーションが彩光苑の中庭でも光り輝き、利用者様の心にも輝きを与えてくれました。

年の最後を飾るにふさわしい彩光苑3大行事のひとつ、クリスマス忘年会が12月16日に行われ、時間が予定を大幅に超えたものの大盛況のうちに幕を閉じました。職員、利用者様にとって楽しいひと時を過ごすことができるよう係が企画し、今年を振り返るゆったりとした時間の中で、涙あり、笑いの時、そして、みんなの幸せを願うような穏やかなひと時…あっという間だったように感じました。

職員参加の出し物は、練習時間が殆どありませんが、本番に強いのが昔から彩光苑職員の特徴!! いざとなると役者顔負けの熱演ぶりには驚かされます。それに対抗するかのように、利用者様の歌や踊りにも圧巻させられました。



司会側から見る職員も利用者様も、皆1人ひとりがとても生き生きと輝いていたのが印象的でした。そして、狭い空間の中での忘年会でしたが、職員、利用者様がひとつになり、クリスマス忘年会を作りあげたというそんな印象を受けました。これも皆様のご協力あってこそ作りあげられた結果だと思います。17年度のクリスマス忘年会は、ご家族の方もご一緒の参加型の会とし、もっと大勢の方々と心がひとつになれるような会ができればと思います。

風邪をひかないようにね

クリスマス忘年会 実行委員長:石塚 希美子



ありがとう



2004年をふりかえり



今年もとうとう年の暮れを迎えました。彩光苑所長さんを始め職員の皆様の思いやりの中、楽しい年を送らせて頂きました。

お祭り・花火大会・歌に踊りとまた、お子さん達の運動会・サッカー大会など可愛らしい姿を見て涙ぐみながら夢中で拝見していました。他に陶芸・書道・俳画等、先生方のご指導を頂き、楽しみながらお勉強をさせて頂きました。また、仲間づくり・桜樹会等ボランティアの皆様と思い出に残る日々を送らせて頂きお礼を申し上げます。今後共、何卒宜しくお願い申し上げます。



宇田川 綾子(特養利用者)



早いもので今年も、もう終わりに近づいています。特にクリスマス会の食事が美味しく心に残っています。

お正月には時々、家に帰っていたけど、私は家もいいけど彩光苑が大好きだから、新年もここで過ごそうと思います。だけど、ひとつ…。好きな時に好きな食べ物・飲み物が欲しいと思うのが、正直な気持ちです。

そして、来年の抱負は、一人でトイレに行けるように頑張りたいです。

皆さんにとって、2005年という年が良い年になりますよう願っています。



佐々木 ミネ(特養利用者)

2005年を迎えて



新年おめでとうございます。

私も入居以来、皆様に支えられて2年。今年は酉年、大きくはばたけるよう、健康に留意しながら趣味など生かして、周りとの調和を保ち、明るく輝ける年であるよう、ガンバリマース! 好きな銘→和・誠



南雲 賢次郎(ケアハウス利用者)



皆様明けましておめでとうございます。昨年は外国ではイラク戦争・テロ・学校では子供たちと父母が爆弾や銃の乱射で命を落としました。国内ではオレオレ詐欺・若人の殺傷事件、加えて中越の大地震等、災害が続いた年でもありました。最後は紀宮様の婚約報道で明るい話題もありました。

彩光苑に住んでいる私は、比較的平穏無事な一年を過ごさせていただいた事を感謝いたします。厭な事もありましたが、新しく入居された同趣味の友達も増え、今年も良い年になりますように努力していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



大高 哲江(ケアハウス利用者)



新年おめでとうございます。

私はこのような綺麗なところで新年を迎える喜びで一杯です。



田中 きのゑ(ケアハウス利用者)



寿司奉仕が今年も来苑

昨年の11月17日、春日部鮪商組合の皆様により、恒例の寿司奉仕の会が彩光苑で行われました。今回で14年目になります。今年は、12名のお寿司屋さんが利用者様の目の前で自慢の腕を披露していただきました。また、普通食が食べられない高齢者の方々にもマグロの中落ちをペーストに加工して食べやすく工夫してもらいました。この日、屋食のあとカラオケで歌を唄い、お寿司屋さんも利用者様と一緒に楽しいひと時を過ごされました。普段、苑内では生ものを食事に出すことができない中、鮪商組合会長の久保田陽一さんは「年に1度しか食べられないということで、楽しみにしているのが良くわかる。寿司を握っているところも見せてあげられて良かった」と言っておられました。また、今年もどうぞよろしくお願いいたします。



ボランティア紹介



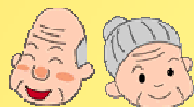
昭和62年に結成された桜樹会の皆様は、同年に苑での活動を開始。現在の活動内容は、毎月第1木曜日と第4金曜日に1階の利用者様の散歩介助やレクリエーション、第1水曜日には洗濯物たたみとなっております。

天気のよい日は、苑の近くにある内牧公園まで、毎回10名程度の利用者様の車椅子を押して出かけ、公園で一緒に歌を唄うなどして利用者様を楽しませて下さっています。

普段、室内での生活が多くなりがちな利用者様にとって、桜樹会さんとの散歩は、外の空気に触れ、四季折々の自然の移り変わりを直接目や肌で感じたり、地域の方とふれあったり、会話を楽しむことのできる貴重な機会となっており、散歩の時の嬉しそうな表情はとても印象的です。そのため、桜樹会様の来苑を心待ちにしている利用者様も多数いらっしゃいます。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



皇后陛下からの御下賜品



皇后陛下より、10月20日の御誕生日にあたり、済生会の老人福祉施設の入居者の方々に、済生会本部を経由して、御下賜品(手拭)が贈られました。

御下賜品は誕生日当日に、特別養護老人ホームに入居されている54名、並びにケアハウスに入居されている50名の方々、一人ひとりに、皇后陛下の誕生日を祝して、所長よりお渡ししました。



「御下賜品(手ぬぐい)」



さわやかサッカー広場



平成16年11月21日(日)に、彩光苑1階食堂にて、財団法人さわやか福祉財団様、市内の小渕サッカー少年団様のご好意により「さわやかサッカー広場」が開催されました。

当日は、浦和レッズの選手3名と広報担当の佐藤様も来苑し、サッカーの模範プレイの披露や子供達と、彩光苑利用者が参加するサッカーボールを使ったゲームを行いました。利用者の方が張り切ってボールを蹴る姿も見られ、大きな盛り上がりを見せました。また、浦和レッズからは苑に、優勝メンバー全員のサイン入りの優勝旗と埼玉スタジアムで使用した試合ボール1個、サイン色紙をプレゼントしていただきました。

「さわやかサッカー広場」は、これまでも何度か開催されており、利用者の方にとっても地域の子供達にとってもよい交流の場となっているので、今後もさわやか福祉財団様、地元のサッカー少年団の方達と協力して継続していきたいと考えております。



渥美二郎 公演会

11月24日(水)に、彩光苑大会議室にてコンサートが開催されました。

渥美二郎様のご挨拶

今回もステージは、皆様手作りの手のこんだ飾りつけをして頂きましてありがとうございます。たくさんの方の心もったお花やプレゼント大変うれしく思います。入居者の皆様そして職員の方々の笑顔に会えるのが、何よりの楽しみです。これからも彩光苑の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。



～利用者様の声～

ケアハウス利用者様よりひと言いただきました。



渥美二郎さんとともに、ステージに立たせて頂いて、「夢追い酒」を歌って最高の気分になり、皆様から盛大な拍手を頂いて大満足でした。

渥美二郎さんと最後に手と手を取り合うことができ、光栄に思っています。

また、彩光苑の職員の方とも楽しい一時を過ごすことができ、嬉しく思っています。

今迄にない素晴らしい公演でした。これからも、渥美二郎さんが来てくださることを楽しみにしています。

中村 哲郎(ケアハウス利用者)

毎年ボランティアとして慰問来苑してくださっていると伺い、楽しみにしていました。

華やかなステージで音楽を身近に聴くと迫力があります。

利用者の方達の手作りの花束を贈呈したり握手をしたりして、和やかに進み、ケアハウス新入居者トリオ中村・清水・大石の出番で「夢追い酒」を渥美さんと共に歌いました。

来年もお越し下さることを約束し、成功裡に終わりました。

尚、歓迎の為に多くの裏方さん達が忙しい中、協力し時間をかけて見事な飾りつけを造りました。その方達にも大きな拍手を送ります。

大石 甲明(ケアハウス利用者)

「何にこの師走の市にゆく鳥」と有名な俳句にあります様に、もう12月、先日は私達皆が待っていた日、どんな姿で来られるのかと期待と喜びでいっぱいでした。素晴らしい声で私達を楽しませてくださいました。心から気持ちが和らぐ一日で、感動を覚えました。

また来年もきっと来てくださることを思い、感謝いたします。

清水 正次(ケアハウス利用者)